

人間発達講座

21世紀を生きる あなたとわたしの発達保障

第2回 つながる つながっていく

会場（対面）とオンラインで開催

▶▶▶ 2024年1月27日(土)12:30~17:30

28日(日) 9:20~15:20

格差や貧困、紛争や戦争、気候変動など、人や社会が抱える多くの問題が可視化される「いま」。コロナパンデミックを経て、私たちの身の周りの手の届く範囲にも見過ごせない課題が山積しています。それぞれの立場で、現場で、様々な課題に直面して、一人ひとりが必死に向き合い、素朴な疑問に首を傾げ、なんとかしたいと努力している人がたくさんいます。

私にも、あなたにも、子どもたちにも、障害のある人にも、すべての人に、自由に、平等に、すこやかに、生存し、安全で安心な環境のもとで豊かな人格をはぐくむ発達の権利があります。その権利を実現するのが、私たちが考える発達保障です。その一つひとつの努力が発達保障を実現する大切な原動力ですが、それぞれ一人で抱えてしまっていないでしょうか。誰かと課題を整理し語り合う機会は十分に持っているでしょうか。

21世紀を生きるあなたと私、権利としての発達保障について、「つながり」「つながっていく」豊かさの中で、「いま」だからこそ学び合い、紐解く糸口を確かめてみませんか？

開催形態

ハイブリッド方式（録画配信もします）

会場

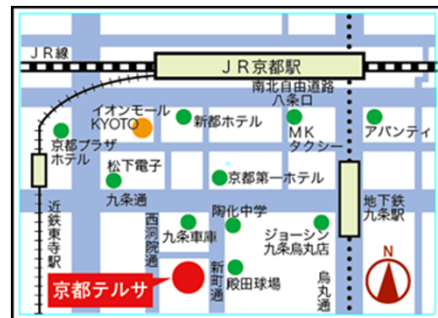
京都勤労者総合福祉センター
京都テルサ 東館2階セミナー室

受講料

- 一般 12,100円（11,000円+税）
- 会員 9,350円（8,500円+税）
- 25歳以下会員※ 3,850円（3,500円+税）

※1997年4月2日以降
同時に入会されると会員価格で受講できます

※1997年4月2日以降
生まれの会員



主催

お問い合わせ

人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

後援

滋賀県・滋賀県社会福祉協議会 他依頼中

講師・講義内容

1月27日（土）

12:00 開場・zoom入室開始

12:30～12:40 開会あいさつ

12:40▶13:50
基調報告

人間発達研究所
運営委員会

発達保障の課題2024

今回の講座のねらいや、みなさんと考えあいたいことを提起します。
運営委員による共同研究の報告です。

14:10▶16:10
第1講義

白石恵理子さん
(滋賀大学)



乳児期後半の発達と発達の原動力の誕生

自分から笑いかけたい、自分でさわりたい、自分でもちたい……乳児期後半に入ると、外界の人や物への指向性を高め積極的に働きかけながら、生活、あそび、人間関係を広げていきます。このように乳児期後半の世界を豊かにする中で、10か月頃には幼児期への新しい力を誕生させていきます。

この講座では、「可逆操作の高次化における階層－段階理論」をふまえ、「乳児期後半（生後6,7か月頃から1歳前半頃）」の階層における発達の特徴と、「新しい発達の原動力の誕生」について、次の発達の階層とのつながりを視野に入れながら学びます。

16:30▶17:30
第2講義

南佐知さん



安井桃子さん



(社会福祉法人
あおば福祉会)

期待に満ちたあたたかい結び目を紡ぐ 乳児保育について考える

この講義では、乳児期後半の子どもたちや、子どもを育てる親、保育者の実際について、保育園の0・1歳児混合クラスでの実践報告を通して学びます。

子どもたちが発達の主人公として安心して自分の世界を広げて過ごす生活や遊びを保障していくために、保育者はどのように子どもの思いを汲み取り保育したいと願っているのか、コロナ禍での様々な制限を通して明らかになった保育で大切にしたい視点等について考えましょう。

また、子育てを通して、子どもも親も、そして、保育者もつながり合い育つ保育の役割等について、深めたいと思います。

1月28日（日）

09:20▶10:50

第3講義

池添素さん

（NPO法人福祉広場）



保育をめぐる情勢と「つながる」子育て

2020年7月の、重度知的障害を持つ長男を殺害し母親が逮捕された事件で、問題となったのは孤立化した子育てでした。

4月に「子ども基本法」が施行され、「子ども家庭庁」が発足し、6月には「こども未来戦略方針」が閣議決定されるなど、国の政策は大きく動いています。その中で子育てを孤立化させないために何をすべきか、相談活動等を通じて、つなげる・共有することを展開されている講師から、事例も紹介いただきつつ、考えあいたいと思います。

11:10▶12:40

第4講義

田中智子さん

（佛教大学）



生涯ケアラーとして生きる女性たち

子どもに障害がある場合、親、特に母親は一生涯をかけてケア役割を引き受けて生きていくこととなります。そのことによって、女性たちはさまざまな社会的リスクも引き受けざるを得ません。ケアを引き受けるのはなぜ女性なのでしょう？ 生涯ケアラーとして生きる女性たちは、どのような経験をしているのでしょうか？ 社会的リスクはどのような仕組みによって生じているのでしょうか？

ケアする権利・ケアしない権利について考えていきたいと思えます。

13:40▶15:10

第5講義

本田由紀さん

（東京大学）



社会を結びなおす

——能力主義・自助社会を考える——

毎日のように流れる子どもの虐待のニュース。いまの日本の社会は、子育てや仕事、教育や生活などにおいて、自己責任や家族の責任が強調されています。そのことが逆に、親子・家族を孤立させ、「助けて」といえず、生きづらい日本をつくりだしてきています。

この講義では、そんな社会の“ほころび”の構造を学ぶとともに、ここから社会を結びなおす軌道修正についてお話しいたします。講義をきくだけでなく、自分たちの実践の周囲を見渡しながら、同時にどう軌道修正していくのかのヒントがいただけます。

15:10～15:20 閉会あいさつ

- 講座のテキストは事前に郵送します
- 参加者による録画・録音はできません

申込方法

<オンライン受講> (定員350人)

右のQRコードまたは人間発達研究所のホームページから。
支払いは、カード・コンビニ・ペイジー 決済から選べます。

※送金後、@eventpay.jpから確認メールが届きます。

※1月20日(土)にzoom接続テストをします。

希望の方は申し込み時に人間発達研究所までお知らせください



オンライン受講
申込専用QRコード

<会場受講> (定員150人)

以下のいずれかの方法で申し込んでください。

①インターネットから

右のQRコードまたは人間発達研究所のホームページから。
支払いは、カード・コンビニ・ペイジー 決済から選べます。

②専用申込用紙(ゆうちょ銀行払込取扱票)で

手元にない場合は請求してください。

※受講票と会場案内は、テキストに同封して送ります。当日持参してください。



会場受講
申込専用QRコード

●会場 京都テルサ(京都市南区東九条下殿田町70番地)

JR京都駅八条口西口から徒歩約15分。

駐車場もあります。(1日上限1,700円。夜間留め置き1,000円)

●飲食 セミナー室は持込飲食が可能です。ゴミは持ち帰りです。レストランもあります。

●介助 移動保障・情報保障の必要な方は、12月中にお知らせください。

車椅子を利用される方もお知らせください。

※会場受講の方も、希望される方には録画視聴の案内を送ります。

※若干の書籍販売を予定しています。

●申し込みにかかる手数料はご負担ください。

●オンライン受講と会場受講は申し込みサイトが異なります。ご注意ください。

●上記の方法での申込み・支払いができない場合、人間発達研究所までお知らせください。

《手順は次のようになります》

申込受付→請求書の発送(払込銀行口座の案内)→入金確認→zoom登録案内、または会場案内

●会場受講のお申し込みは、オンライン受講への変更が可能です。

オンライン受講の申込みの方の会場受講への変更はできません。

▶申込締切 2024年1月11日(木)

期日前でも定員になり次第、締め切ります。

▶録画視聴 2024年2月3日(土)から2月18日(日)まで(予定)

▶キャンセル メール・FAX・郵送で人間発達研究所までお知らせください。

キャンセル受付の返信を必ず確認してください。

※2024年1月11日(木)以後のキャンセルはできません。